

# 令和7年度 小平市立学園東小学校 授業改善推進プラン 6年

学年	学年の指導方針	改善方法・改善策	評価方法	12月	3月
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>質問や答える際の話型を示す。</li> <li>漢字指導や漢字小テストの直しを徹底する。</li> <li>問われていることを正確に把握できるよう指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話型を示して、言葉の遣い方を指導する。やりとりの見本を示して、他者の受け取り方を意識させる。</li> <li>同音異義語や普段慣れ親しんでいない読み方、部首、「へん」や「つくり」に注目させて新出漢字の定着を図る。</li> <li>音読活動を充実させる。問題文を読み飛ばさないようポイントとなる箇所の下線を引かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インタビュー形式の学習の様子やノートの記述から評価する。</li> <li>ミニテスト、ワークテストから評価する。</li> <li>ワークテストから評価する。</li> </ul>		
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学進学時に必要な基礎・基本を全員に定着させる。</li> <li>配布資料を基に社会的な見方、考え方が働くように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味を引き付けるために分かりやすい資料を用意する。</li> <li>配布資料や地図帳を基に、位置や空間、時期、歴史上の人物のつながり、時代背景を捉えながら、ポイントを指導する。また、自力で調べる時間や考えを書く時間を必ず設け、学習を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート、ワークシート、ワーク、テストで評価する。</li> <li>資料活用能力を、ノートやレポートにまとめたもので評価する。</li> </ul>		
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習内容を使って課題を解決することを意識させる。</li> <li>図や表などを使って自分の考えを表現、説明できるようにする。</li> <li>復習の時間や必要に応じた個別指導の時間を確保し、基礎基本の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習内容を振り返るワークシートを学習の中で実施する。</li> <li>各自の解法を相互に伝えさせ、いろいろな考え方を知り、互いのよさを認め合うことで理解を深めさせる。また、図や表など使って自分の考えを表現する方法を示し、実際に説明する場面を設定する。</li> <li>分数の計算ワークシートを行い、解き方で倍数、約数の考えを用いること、中学の学習につながることを意識させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート、ワークシート、ワークテスト、発表の様子から知識評価する。</li> <li>机間指導でノートの記述や発言を把握し、思考過程を評価する。</li> </ul>		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決型の学習の流れを定着させていく。</li> <li>できるだけ多く観察や実験の器具に触れ、知識、技能の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題→予想→観察/実験→結果→考察→結論という流れで学習を行い、定着させ、主体的に学習に参加する態度や論理的に考える力を養う。</li> <li>単元終了後に、学習内容確認用のワークシートを実施し、知識の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童のノート、ワークシートの予想や考察、結論の内容、ワークテストの結果から知識、技能面の評価をする。</li> </ul>		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱領域に重点を置いた授業を展開する。器楽、鑑賞、音楽づくりの3つ領域も年間通じて授業で扱う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱曲を扱う際には、頭声的な発声を意識するように声掛けをしていくとともに、いわゆる裏声が出しづらい児童は無理をせず、喉を開けることを意識するように声掛けしていく。</li> <li>用語や記号などは曲に出てきた際に取り出して指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>演奏の聴取や実技テストや提出物等で評価する。</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が自由に発想構想できるように生活や環境と結び付ける。</li> <li>児童が作品だけでなく作品の奥にあるものを意識できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6年生として興味関心の高まるような題材設定を行うとともに、製作前にアイデアを共有する時間を設けるなど、多様な発想が生まれるように導入を工夫して行う。</li> <li>作品やノートから自分らしい発想や構想を見つけ、その都度声掛けをし、褒めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品や制作過程から、発想構想を評価する。</li> <li>製作プロセスや意図を重視する。</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的に運動のポイントを理解し、自ら課題を設定したり、解決方法を決めたりする力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動画を通して手本の動作を確認し、児童同士で動きを見合ったり動画で撮影したりして、コツやポイントを共有する時間を確保し、協働的に学ぶことができる機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元ごとに児童の自己評価を行う。</li> <li>お互いの運動の様子を見る活動を通して、評価する。</li> </ul>		
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭生活に必要な知識と技能を身に付けさせ、日々の生活で実践できるように家庭学習などの機会を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での課題を設定するとともに、日常の生活場面をふり返りながら学習を進め、家庭での様子にも目を向ける機会を増やす。</li> <li>実践したことを授業で共有させ、活用のよさを考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テスト、ノート、ワークシートで評価する。</li> </ul>		
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を見付ける活動で、事前に調べる時間をとり、明確に課題をもたせ、計画を立てさせることで、学習の見通しをもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の導入の計画を改善し、個別に目的や問題解決意識をもてるようにしていく。</li> <li>ICTを活用し、様々な媒体を使った調べる方や様々な発表形態を聞いて、よりよいまとめ方や発表の仕方を学ばせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童のワークシートや発表の成果物から評価する。</li> </ul>		
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も最高学年を意識した取り組み方や姿勢について考えさせる。学級会を定期的に行う中で、自分の考えをもつ時間や伝える時間を意図的に設け、合意形成の力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会活動が、全校児童のための活動であることを意識させ、個人の仕事内容を確実にこなせるようにさせる。</li> <li>たてわり班ではリーダー会を中心にして、最高学年として全校のことを考えた活動、振る舞い方について考えさせる。</li> <li>学級会の中では、たくさんの意見を出させ、その中からまとめていくことができるよう、教師が意図的に場を設定したり、助言したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任の見取りとともに各担当教諭からそれぞれの活動での児童の様子を聞き、評価する。</li> </ul>		
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャンツやゲームを取り入れ、発音や会話を楽しみながら取り組めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャンツやゲームなどの体験を多くし、楽しめる体験を増やす。また中学校進学を念頭に、アルファベットの大文字と小文字を習得する活動やライティングを取り入れていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テスト、ノート、ワークシート、スピーチや発表の様子から評価する。</li> </ul>		

<p>特別の 教科道徳</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他教科とも関連付け、道徳的な価値をより認識させ、その実践力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳の時間を核に普通の授業や生活の中でも道徳的な価値を認識させる。</li> <li>授業時間の中で振り返りの時間を十分に確保し、実践しようとする気持ちをもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートや発言等の様子、授業観察による評価を行う。</li> </ul>		
<p>I C T</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全員が素早く正確に入力できるようにする。</li> <li>活用方法を丁寧に指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業での活用場面を増やしたり、入力スキルを高めるようなアプリケーションに取り組みせたりする機会を増やす。</li> <li>思考ツールなど、場に応じて児童が選ぶ力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートや発言等の様子、授業観察による評価を行う。</li> </ul>		